

平成28年度事業計画書(案)

資料 2

(地域支援ネットワーク部会)

1 基本方針

(27年度までの実施結果、今後の課題、課題を踏まえて28年度何を目標とするか 等)

高齢者の孤立を生まない地域社会づくりを目指し、以下の取り組みを行います。

1 見守りが必要な高齢者と別居家族をつなぐ仕組みづくりに取り組みます。

26年度の取組みのなかで、緊急時に家族と連絡がつかないなど地域で見守りをしている高齢者のなかには別居の家族とのつながりが希薄な方が少なくない、という地域課題が明らかとなった。

この課題への具体策として、27年度に見守りが必要な高齢者と別居の家族をつなぐ仕組みづくりとして「見守りが必要な高齢者の暮らしぶりが伝わるシート」を作成し大高学区の一部地域においてモデル実施を行った結果、シートを使った仕組みづくりにおける問題点が具体化できた。

28年度は、シートを完成させ、見守りが必要な高齢者と別居家族をつなぐ仕組みとして本格実施する。

2 見守り協力事業者の新規登録を増やし、地域の見守り力の強化を図ります。

見守り協力事業者の新規登録を募集するため、27年度は緑区介護事業所連絡会における「高齢者見守り事業者登録制度研修会」の開催と緑区内の郵便局、名古屋鉄道の駅、JAみどりに事業説明を行った。

28年度は、見守りが必要な高齢者にとってより身近な見守り事業者を増やしていくため、緑区内の商店街協同組合等を対象に高齢者見守り事業者登録制度についての研修会を開催する。

2 必要経費(総額)

191,000 円

3 年間スケジュール

4月	
5月	
6月	1日:部会(第1回)の開催
7月	
8月	26日:部会(第2回)の開催
9月	「高齢者見守り事業者登録制度」研修会の開催
10月	「見守りが必要な高齢者の暮らしぶりが伝わるシート」報告会の開催
11月	
12月	1日:部会(第3回)の開催
1月	27日:部会(第4回)の開催
2月	
3月	

4 取組み内容

1	事業名称	地域支援ネットワーク部会の運営		
	事業目的	高齢者の孤立死を生まない地域社会づくり		
	事業内容	<p>下記のスケジュールにより、部会4回、研修会1回、報告会1回を開催する。</p> <p>6月：部会（第1回） シートのモデル実施結果の検討 8月：部会（第2回） 活用のあり方と共にシートの完成 9月：高齢者見守り協力事業者登録制度研修会の開催 10月：シートの活用についての報告会開催（民生会長会に併設） 12月：部会（第3回） 平成29年度の取組みに向けた検討 1月：部会（第4回） 平成28年度事業報告と29年度事業計画（案）について</p>		
	必要経費 （円）	71,000円	内 訳 積算等 （円）	消耗品・資料印刷代 30,000円 食糧費（お茶代） 11,000円 講師謝金 30,000円
2	事業名称	見守りが必要な高齢者と別居家族をつなぐ仕組みづくり		
	事業目的	地域で見守りをしている高齢者の別居の家族に、実際の暮らしぶり（地域による見守り等の状況）を伝えることで、高齢者と別居の家族をつなぐ仕組みができる。		
	事業内容	<p>27年度に作成、モデル実施した「見守りが必要な高齢者の暮らしぶりが伝わるシート」を完成させ、見守りが必要な高齢者と別居家族をつなぐ仕組みとしての活用を開始する。</p> <p>また、仕組みを全区に拡大していくために民生会長会に併設して報告会を開催する。</p>		
	必要経費 （円）	100,000円	内 訳 積算等 （円）	消耗品・資料印刷代・シート作成費 100,000円

3	事業名称	研修会「見守り協力事業者数の拡大に向けて」の開催		
	事業目的	高齢者の孤立を防ぐため、見守り協力事業者の登録数を増やし、地域の見守り力を強化する。		
	事業内容	区内商店街協同組合等に「高齢者見守り事業者登録制度」について周知するとともに、新規登録事業者を募集する。 講師：新聞販売店見守り協力店（予定）		
	必要経費 （円）	20,000円	内 訳 積算等 （円）	消耗品・資料印刷代 10,000円 講師謝金 10,000円